

|              |                                                                                   |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Title        | 大阪大学大学院文学研究科・文学部 懐徳堂センター<br>彙報 (2008年1月～12月)                                      |
| Author(s)    |                                                                                   |
| Citation     | 懐徳堂センター報. 2009 P.120-P.120                                                        |
| Issue Date   | 2009-02-28                                                                        |
| Text Version | publisher                                                                         |
| URL          | <a href="http://hdl.handle.net/11094/24389">http://hdl.handle.net/11094/24389</a> |
| DOI          |                                                                                   |
| rights       |                                                                                   |
| Note         |                                                                                   |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

大阪大学大学院文学研究科・文学部 懷徳堂センター  
彙報（二〇〇八年一月～二月）

1月19日 大阪歴史博物館特別展「なにわ人物誌」が開催され、懷徳堂  
文庫所蔵の平瀬家関係資料など二点が展示された。会期は3月  
10日まで。

10月11日 大阪市計画調整局アイ・スポット（淀屋橋オドナ内）にて懷  
徳堂関係資料の展示が開始された。

10月17日 池田市立歴史民俗資料館特別展「賑にぎわい交わる街道と池田」  
が開催され、懷徳堂文庫所蔵の管茶山書状などが展示された。  
会期は12月7日まで。入場者は約六千名。

2月29日 『懷徳堂センター報2008』を発行した。  
(井上記)

二〇〇九年二月二十八日発行（通巻第六号）  
懷徳堂センター報 2009

編集・発行

国立大学法人 大阪大学

大学院文学研究科・文学部 懷徳堂センター

〒五六〇―八五三―一 豊中市待兼山町一―五

電話 〇六―六八五〇―一五〇八八

<http://www.ler.osaka-u.ac.jp/kaitoku-c/>

印刷・装丁

阪東印刷紙器工業所

〒五五三―〇〇〇四 大阪府福島区玉川三―六―四

電話 〇六―六四四三―〇九三六

大阪大学大学院文学研究科・文学部懷徳堂センターでは、  
『懷徳堂センター報2010』（仮称）の原稿を下記の通り  
募集いたします。

【募集する原稿】

懷徳堂センターの諸活動および懷徳堂にかかわる論考。

【締切】

二〇〇九年一〇月末日。

【枚数】

四百字詰め原稿用紙に換算して五十枚以内。ただし資料翻刻や  
目録などで大部なものは、枚数の超過を認めることがある。

【形式】

打出し原稿およびテキストファイル。

本センターへ郵送または直接提出のこと。

【採否】

センター委員による審査を経て採否を決定し、結果を執筆者へ  
通知する。

【校正】

著者校正は再校まで。念校を本センターにて行う。

【刊行形態・刊行日】

二〇一〇年二月刊行予定。関係機関や研究者に寄贈。非売品。  
刊行物と内容の電子ファイルを公衆送信化する。

【抜刷】

抜刷は作成しない。著者には原則として本誌五部を寄贈する。